

未来への種まき ～向陽ふるさと学習がもたらすもの～

校長 吉嶺 梓

「おじちゃんね、南極でくじらを捕まえていたんだよ。」
「親子のくじらは、ぜったい捕らなかつたんだよ」と、語りかける菊畑さんの言葉に、子供たちは真剣に聞き入っていました。

これは、2月第2土曜日に行われた「向陽ふるさと学習」の一場面です。今年度から始まった向陽ふるさと学習は、地域の素材や人材を活用して、郷土のよさを知り、郷土に誇りや愛着をもつ子供たちを育てるために始まりました。「教育は国家百年の計」と言われるように、教育は、すぐに効果や結果が出るわけではありません。学校時代に学んだことの、何が子供たちの心を動かし、やる気を引出すかは、本人すら分かりません。しかし、学校教育で学んだこと、刺激を受けたこと、体験したことは、必ず子供たちの生きる力につながっていくのだと信じています。

ですから、小学校時代は、様々な学習内容があり、いろいろな体験活動が、幅広く用意されているのです。その一つに、向陽ふるさと学習もあります。先月号の学校便りに記したように、「忘れ去った記憶の後に、何を残すか！」が教師に求められた命題です。子供たちの心や体に染み込む、生きていく上での財産になる力を育てるために、学校教育の存在意義があるのだと思います。

さて、来年度も別表のようなふるさと学習を計画しています。様々な方々の知恵をお借りして、向陽小の子供たちの未来の種まきを、せっせと取り組んでいきます。今後ともご期待ください。

令和2年度 向陽ふるさと学習年間計画		
時間：8：30～8：50 場所：向陽小体育館		
期 日	講師名	主な活動内容
5月9日(土)	南正信 氏	広木虚無僧踊りの魅力紹介
6月13日(土)	志尊館大学創作舞踊「我流染」	創作舞踊に魅せられて
7月11日(土)	鹿児島島イナズ	地元プロバスケの挑戦
9月12日(土)	宇野みわ子 氏	知ってほしい手話通訳
10月10日(土)	久保田里香 氏	私の祖父「椋鳩十」の教え
11月14日(土)	塩川哲朗 氏	持続可能な社会の実現に向けて
12月12日(土)	紫原中学生	後輩に伝えたい!大切なメッセージ
1月9日(土)	亀田晃一氏	お天気博士からのメッセージ
2月13日(土)	森田真一 氏	昔の向陽校区の暮らしぶり
3月13日(土)	川畑初夫 氏	ボランティアガイドの魅力